

## 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	つながり人口創出事業「天龍つなぐカレッジ」
事業主体 (連絡先)	天龍村 (地域振興課移住定住推進係・0260-32-1023)
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,680,200 円 (うち支援金: 1,344,000 円)

## 事業内容

住まなくとも地域とかかわりを持つことによって、地域活動の活性化や担い手の確保を行うため、つながり人口(関係人口)づくりに2019年より取り組んでいます。

今年度は「秘境大学」というタイトルで、キャンプ場アイデアソンや里山の暮らしをオンライン上で紹介し、実際に天龍村に足を運んでいただき、地域活動に参加していただくプログラムを実施しました。



【視察活動後の記念撮影】

## 【目標・ねらい】

◎地域住民と都市部住民が交流を通じて長期的に関わりが持てるよう「行きつけの田舎」をつくる。

- ①天龍つなぐカレッジ(秘境大学)参加者 10名
- ②地域内協力者 20名

## 事業効果

本事業を通じ、地区内でも事業の知名度が高まり受け入れに寛容となったほか、担い手不足が深刻であった地区で行われる「お潔め祭り」の担い手となる方も本事業を通じこれまで4名が加わるなど、伝統芸能の新たな継承のあり方の一つとして、都市部住民の受け入れに対する地域内での熱量も高まっている。

また、県内他市町村のつながり人口拡大につなげるため、県内自治体向けに事例共有を行ったほか、リニア開業に向けた地域の方針にもこうした事業の重要性と効果をお伝えすることができた。

- ①天龍つなぐカレッジ参加者 のべ47名  
(オンラインイベント参加者42名、現地プログラム参加者5名)
- ②天龍村など地元でオンライン交流会に参加してくださる方および協力者8名+地区在住の方多数

## ※自己評価【A】

## 【理由】

- ・これまで取り組んだつながり人口の事業をきっかけに参加者の1人が天龍村に移住した。
- ・結果として「つながり」が地元の伝統芸能の担い手の確保につながり、閉塞感が期待感に変わった。

## 今後の取り組み

これまでの事業を通じ、オンラインとオフライン(現地参加)をうまく活用することで、出会えなくてもつながりが続けられることがわかってきました。これまでは村や委託業者によるプログラムとして事業を軌道に乗せていくことを念頭に置いて活動を行っていましたが、今後は地域の住民と都市部の参加者が自立して活動できるようサポートを行っていきたいと考えます。

また、これまでのつながりやテーマをあまり変えずに、その考えに共感できる方を中心に募集を行うことで輪が広がり、地域にもスムーズに入りやすいような印象を受けました。そのため引き続き「秘境大学」の事業を継続し輪を拡大する取り組みを継続できるよう、サポートしていききたいと思います。

(「秘境大学」…大学キャンパスを天龍村に見立て、地域の住民や協力者を教授としてお招きし、学生(参加者)を募集する。また、さまざまなテーマを学部に見立て、地域資源の掘り起こしや課題の解決などにつなげる。)